

未来を拓く進路指導の充実

～ 高等学校 ～

昭和六十年年度公立高等学校全日制課程の卒業者の進路状況は、次のとおりである。(昭和六十一年五月一日実施の学校基本調査による。なお、六十年年度以前の数値も、すべてその年度に対応する学校基本調査によるものです。)

一、概況

◇卒業者の総数は、男子一万五千五百十八人、女子一万五千五十七人、計二万二千五百六十七人である。

◇大学等(大学、短期大学、大学・短期大学の別科及び高等学校専攻科をいふ)への進学率(就職進学者も含む)は、昭和四十九年度二十七・四パーセントを最高に年々減少傾向を示し、五十五年度と五十九年度を除き、いづれも前年度を下まわり、六十年度も前年度に比し〇・四ポイント減少した。

男女別では、前年度に比し進学率は男子一・三ポイント減少し、女子は〇・八ポイント増加した。(図1の①)。

◇就職率は、五十年年度から五十六年度にかけて年々増加したが、五十七年度は、五十二・七パーセントと前年度に比して〇・六ポイント減少した。

五十九年度は五十三・五パーセントと、四十九年度以来最高を示したが、六十年度は五十三・三パーセントと前年度に比して〇・二ポイント減少した。(図1の②)。

◇就職者の県内留保率(県内就職率)は、四十九年度の四十五・〇パーセン

図1 大学進学率と就職率の推移 (公立全日制)

